



2014年度（平成27年3月期）
第2四半期決算

参考資料

2014年10月30日
エーザイ株式会社

お問い合わせ

PR部： TEL 03-3817-5120

IR部： TEL 03-3817-3016

<http://www.eisai.co.jp/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでいます。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれています。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものです。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、ジェネリック医薬品に関するリスク、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性および品質に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、内部統制の整備等に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

目次

1. 連結損益計算書	1
2. 資本的支出及び減価償却費の状況	2
3. セグメント情報	2
4. 報告セグメント別情報	3
5. 主力品売上収益	7
6. セグメント別売上収益予想	9
7. 連結包括利益計算書	10
8. 連結キャッシュ・フロー計算書	11
9. 連結財政状態計算書	12
10. 連結四半期業績の推移	14
11. 株式の状況	17
12. 従業員数	18
13. 主要開発品	19

為替レート

		米国 (円/米ドル)	欧州 (円/ユーロ)	英国 (円/ポンド)	中国 (円/人民元)
2013年度 第2四半期	期中平均レート	98.85	130.00	152.48	16.10
	期末日レート	97.75	131.87	158.09	15.98
2013年度 通期	期中平均レート	100.23	134.36	159.44	16.41
	期末日レート	102.92	141.65	171.31	16.59
2014年度 第2四半期	期中平均レート	103.04	138.91	172.73	16.62
	期末日レート	109.45	138.87	177.74	17.73
2014年度	予想前提レート	103.00	140.00	170.00	17.00

- 当社は2013年度の連結財務諸表からIFRSを任意適用し、当第1四半期の連結財務諸表よりIFRSにて開示しています。
- 当社グループは、医薬品事業を構成する日本(医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬)、アメリカス(北米、中南米)、アジア(中国、韓国、台湾、インド、アセアン等)、EMEA(欧州、中東、アフリカ、オセアニア)、薬粧-日本(一般用医薬品等)の5つの事業セグメントをそれぞれ報告セグメントとしています。なお、医薬品事業に含まれない事業はその他事業としています。
- 当資料中の数字は、四捨五入で表示しています。

1. 連結損益計算書

(億円、%)

	2013年度				2014年度				2014年度	
	2Q累計	売上比	通期	売上比	2Q累計	売上比	前同比	増減額	通期予想	売上比
売上収益	3,045	100.0	5,995	100.0	2,691	100.0	88.4	△ 354	5,660	100.0
売上原価	933	30.6	1,947	32.5	938	34.9	100.5	5	2,000	35.3
売上総利益	2,112	69.4	4,048	67.5	1,752	65.1	83.0	△ 359	3,660	64.7
販売費及び一般管理費	1,014	33.3	2,033	33.9	947	35.2	93.4	△ 67	1,915	33.8
販売費	449	14.8	789	13.2	354	13.2	78.8	△ 95	—	—
人件費	360	11.8	742	12.4	377	14.0	104.7	17	—	—
管理費他	204	6.7	502	8.4	216	8.0	105.5	11	—	—
研究開発費	678	22.3	1,363	22.7	621	23.1	91.6	△ 57	1,215	21.5
その他の収益	37	1.2	41	0.7	6	0.2	15.4	△ 31	—	—
その他の費用	8	0.3	28	0.5	10	0.4	129.4	2	—	—
営業利益	449	14.7	664	11.1	180	6.7	40.2	△ 269	530	9.4
金融収益	10	0.3	18	0.3	9	0.3	91.5	△ 1	—	—
金融費用	30	1.0	59	1.0	26	1.0	85.6	△ 4	—	—
税引前四半期（当期）利益	428	14.1	623	10.4	163	6.1	38.1	△ 265	495	8.7
法人所得税	123	4.1	238	4.0	58	2.2	47.2	△ 65	—	—
四半期（当期）利益	305	10.0	385	6.4	105	3.9	34.5	△ 200	350	6.2
四半期（当期）利益の帰属										
親会社所有者	304	10.0	383	6.4	104	3.9	34.3	△ 199	—	—
非支配持分	2	0.0	3	0.0	1	0.0	63.9	△ 1	—	—

四半期（当期）包括利益	488	16.0	845	14.1	357	13.3	73.2	△ 131
-------------	-----	------	-----	------	-----	------	------	-------

EPS（円）	106.4	134.1	36.5	122.4
DPS（円）	70.0	150.0	70.0	150.0
ROE（%）	—	7.6	—	6.7
DOE（%）	—	8.5	—	8.2
海外売上収益比率（%）	41.9	40.8	42.6	

・通期予想の販売費及び一般管理費にはその他の収益・費用が含まれています。

・EPS：基本的1株当たり四半期(当期)利益、DPS：1株当たり配当金、ROE：親会社所有者帰属持分当期利益率、DOE：親会社所有者帰属持分配当率

<コメント>

■売上収益	<ul style="list-style-type: none"> グローバルブランド（ハラヴェン、Fycomba、Belvia）の成長 米国におけるアシフェックスの独占販売期間満了による減少、日本の薬価改定、ジェネリック医薬品との競合激化
■売上原価率	<ul style="list-style-type: none"> 品目ミックスの変化による上昇
■販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> 共同販促パートナーへの提携費用支払い減少 構造改革による費用効率化の進行 グローバルブランド、アジア・新規進出国への積極投資
■研究開発費	<ul style="list-style-type: none"> 前年同期にマイルストーン支払い発生 共同開発に関するオプション権行使による一時金受領 プロダクトクリエーション（研究開発）加速に向けた積極的な資源投入
■為替による影響額	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益：51億円、営業利益：△11億円
■為替感応度 (1円の円安に対しての年間影響額)	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益：米ドル 12.0億円、ユーロ 2.1億円、英ポンド 0.3億円 営業利益：米ドル △5.3億円、ユーロ 1.2億円、英ポンド △1.0億円

2. 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2013年度		2014年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	増減額	通期予想
資本的支出額	125	312	71	△ 54	275
有形固定資産	24	123	46	22	120
無形資産	101	189	25	△ 76	155
減価償却費及び償却費	201	399	187	△ 14	376

3. セグメント情報

1) セグメント売上収益

(億円、%)

	2013年度		2014年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比	為替影響除く 前同比
日本 医薬品事業	1,600	3,110	1,396	87.2	87.2
アメリカス 医薬品事業	813	1,589	599	73.7	70.7
米国	810	1,583	595	73.5	70.5
アジア 医薬品事業	281	580	338	120.3	115.4
中国	150	318	190	126.6	122.7
EMEA 医薬品事業	151	320	181	119.8	111.6
薬粧 - 日本 (一般用医薬品等)	95	193	85	89.1	89.1
その他事業	103	202	91	88.4	87.3
連結売上収益	3,045	5,995	2,691	88.4	86.7

・外部顧客に対する売上収益を示しています。

2) セグメント利益

(億円、%)

	2013年度		2014年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比	為替影響除く 前同比
日本 医薬品事業	833	—	623	74.8	74.8
アメリカス 医薬品事業	165	—	84	50.9	49.1
アジア 医薬品事業	69	—	93	134.3	127.0
EMEA 医薬品事業	16	—	31	199.4	186.3
薬粧 - 日本 (一般用医薬品等)	18	—	5	25.6	25.6
その他事業	44	—	25	57.0	54.0
研究開発費	678	—	621	91.6	88.3
親会社の本社管理費等	16	—	58	354.3	354.3
連結営業利益	449	—	180	40.2	42.6

4. 報告セグメント別情報

1) 日本 医薬品事業

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	1,600	3,110	1,396	87.2
医療用医薬品	1,463	2,816	1,243	85.0
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）	108	234	125	114.8
診断薬（エーティア）	29	60	28	97.0
セグメント利益	833	—	623	74.8
日本 医療用医薬品 主力品売上収益				
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	356	650	242	67.9
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	251	473	192	76.3
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	144	288	149	103.4
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	133	252	115	86.2
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	85	194	98	116.1
経口抗凝固剤 ワーファリン	51	97	45	87.9
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	41	77	34	82.0
抗がん剤 ハラヴェン	33	64	30	91.4
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	36	67	25	69.1
不眠症治療薬 ルネスタ	12	29	21	178.9

- ・パリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含めています。
- ・リリカの売上収益は共同販促収入です。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米、中南米)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	813	1,589	599	73.7 <70.7>
米国	810	1,583	595	73.5 <70.5>
セグメント利益	165	—	84	50.9 <49.1>
アメリカス 主力品売上収益				
制吐剤 Aloxi	214	429	236	110.1 <105.7>
米国 (百万米ドル)	214 (217)	429 (428)	236 (229)	110.1 <105.6>
抗がん剤 ハラヴェン	65	134	76	118.1 <113.4>
米国 (百万米ドル)	64 (64)	131 (130)	75 (72)	117.2 <112.4>
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス (百万米ドル)	306 (309)	377 (376)	67 (65)	22.0 <21.1>
抗てんかん剤 Banzel	32	76	45	139.8 <134.2>
米国 (百万米ドル)	32 (32)	75 (75)	44 (43)	140.4 <134.7>
肥満症治療剤 Belvia (百万米ドル)	9 (9)	25 (25)	27 (27)	293.5 <281.5>
抗てんかん剤 Fycompa	0	8	5	3192.2 <3081.0>
米国 (百万米ドル)	— (—)	7 (7)	4 (4)	— <—>

- ・アシフェックス、Belviaの自社販売国は米国のみです。
- ・前同士の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

3) アジア 医薬品事業 (中国、韓国、台湾、インド、アセアン等)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	281	580	338	120.3 <115.4>
中国	150	318	190	126.6 <122.7>
セグメント利益	69	—	93	134.3 <127.0>
アジア 主力品売上収益				
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	76	161	95	124.0 <120.7>
中国	65 (403)	138 (844)	82 (491)	125.9 <121.9>
(百万人民元)				
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	59	120	66	111.4 <104.5>
中国	18 (111)	38 (234)	22 (134)	123.8 <119.9>
(百万人民元)				
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	34	68	40	115.2 <106.1>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	27	57	31	112.8 <109.8>
中国	10 (62)	22 (135)	13 (79)	131.2 <127.1>
(百万人民元)				
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファーゲンシー/グリチロン錠	25	55	31	124.2 <120.3>
中国	24 (151)	54 (331)	30 (182)	124.5 <120.6>
(百万人民元)				
抗がん剤 ハラヴェン	1	5	5	338.6 <323.7>

・前同比の< >内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4) EMEA 医薬品事業 (欧州、中東、アフリカ、オセアニア)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	151	320	181	119.8 <111.6>
セグメント利益	16	—	31	199.4 <186.3>
EMEA 主力品売上収益				
抗がん剤 ハラヴェン	39	85	53	136.2 <126.6>
抗てんかん剤 ゾネグラン	32	66	39	123.1 <114.4>
抗てんかん剤 Zebinix	11	24	15	135.6 <126.4>
抗てんかん剤 Fycompa	7	13	11	151.1 <138.6>
抗てんかん剤 イノベロン	9	19	10	117.7 <109.4>

・前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

5) 薬粧 - 日本 (一般用医薬品等)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
売上収益	95	193	85	89.1
セグメント利益	18	—	5	25.6
薬粧 - 日本 主力ブランド売上収益				
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	63	120	56	88.6

5. 主力品売上収益

1) がん関連領域製品

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
がん関連領域製品計	537	1,007	468	87.1 <83.7>
ハラヴェン (抗がん剤)	138	288	165	119.3 <114.2>
日本	33	64	30	91.4
アメリカス	65	134	76	118.1 <113.4>
アジア	1	5	5	338.6 <323.7>
EMEA	39	85	53	136.2 <126.6>
Aloxi (制吐剤)	214	429	236	110.1 <105.7>
トレアキシシ/シンベンダ (抗がん剤)	20	39	18	91.8 <91.3>
その他	164	251	49	29.6 <28.5>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

2) てんかん領域製品

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
てんかん領域製品計	107	241	146	136.3 <128.8>
Fycompa (抗てんかん剤)	7	21	15	214.8 <200.3>
アメリカス	0	8	5	3192.2 <3081.0>
EMEA	7	13	11	151.1 <138.6>
ソネグラン (抗てんかん剤)	44	91	53	122.6 <114.8>
EMEA	32	66	39	123.1 <114.4>
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	42	97	57	137.0 <130.8>
アメリカス	32	76	45	139.8 <134.2>
EMEA	9	19	10	117.7 <109.4>
Zebinix (抗てんかん剤)	11	24	15	135.6 <126.4>
その他	4	9	5	139.7 <139.7>

・前同士の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

3) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
パリエット/アシフェックス計	587	914	293	49.8 <49.2>
日本	251	473	192	76.3
アメリカス	306	377	67	22.0 <21.1>
アジア	27	57	31	112.8 <109.8>

- 日本のパリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインパック」の売上収益を含めています。
- 前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。

4) アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)

(億円、%)

	2013年度		2014年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比
アリセプト計	453	827	319	70.4 <69.3>
日本	356	651	242	67.9
アジア	59	120	66	111.4 <104.5>

- 前同比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しています。
- アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本のみです。

6. セグメント別売上収益予想（2014年度）

	2013年度		2014年度	
	2Q累計	通期	2Q累計	通期予想
(億円)				
日本	1,600	3,110	1,396	3,075
医療用医薬品	1,463	2,816	1,243	2,740
アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 アリセプト	356	650	242	595
プロトンポンプ阻害剤 バリエット	251	473	192	420
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	144	288	149	305
末梢性神経障害治療剤 メチコバール	133	252	115	230
経口抗凝固剤 ワーファリン	51	97	45	90
抗がん剤 ハラヴェン	33	64	30	90
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	41	77	34	70
不眠症治療薬 ルネスタ	12	29	21	65
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	36	67	25	60
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）	108	234	125	275
診断薬（エーディア）	29	60	28	60
アメリカス	813	1,589	599	1,115
米国	810	1,583	595	1,100
アジア	281	580	338	675
中国	150	318	190	380
EMEA	151	320	181	400
薬粧 - 日本（一般用医薬品等）	95	193	85	210
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	63	120	56	125
その他	103	202	91	185
連結売上収益	3,045	5,995	2,691	5,660
主要品目グローバル売上収益				
バリエット/アシフェックス	587	914	293	530
アリセプト	453	827	319	755
ハラヴェン	138	288	165	390
日本	33	64	30	90
アメリカス	65	134	76	155
アジア	1	5	5	10
EMEA	39	85	53	135
Fycompa	7	21	15	95
アメリカス	0	8	5	70
EMEA	7	13	11	25

7. 連結包括利益計算書

(億円、%)

	2013年度		2014年度		
	2Q累計	通期	2Q累計	前同比	増減額
四半期(当期)利益	305	385	105	34.5	△ 200
その他の包括利益					
損益に振り替えられることのない項目					
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	16	38	△ 9	—	△ 24
確定給付制度に係る再測定	—	25	—	—	—
小計	16	64	△ 9	—	△ 24
損益にその後に振り替えられる可能性のある項目					
在外営業活動体の換算差額	163	388	257	158.0	94
キャッシュ・フロー・ヘッジ	5	8	3	76.6	△ 1
小計	167	396	261	155.8	93
その他の包括利益合計	183	460	252	137.7	69
四半期(当期)包括利益	488	845	357	73.2	△ 131
四半期(当期)包括利益の帰属					
親会社所有者	487	843	356	73.1	△ 131
非支配持分	1	2	1	102.3	0

8. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2013年度	2014年度	
	2Q累計	2Q累計	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期利益	428	163	△ 265
減価償却費及び償却費	201	187	△ 14
減損損失	—	0	0
運転資本の増減額（△は増加）	△ 5	60	66
利息及び配当金の受取額	11	9	△ 2
利息の支払額	△ 32	△ 23	9
法人所得税の支払額	△ 121	△ 60	61
法人所得税の還付額	2	38	36
その他	△ 48	△ 3	45
営業活動によるキャッシュ・フロー	436	372	△ 65
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出 ①	△ 46	△ 77	△ 31
有形固定資産の売却による収入 ②	28	21	△ 7
無形資産の取得による支出 ③	△ 101	△ 26	75
<資本的支出等（キャッシュベース）> ①+②+③	△ 118	△ 81	37
金融資産の取得による支出	△ 26	△ 48	△ 22
金融資産の売却・償還による収入	55	50	△ 5
3カ月超預金の預入による支出	△ 124	△ 173	△ 50
3カ月超預金の払戻による収入	387	120	△ 267
支配の喪失を伴う子会社株式売却による収入	9	—	△ 9
その他	△ 1	1	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	183	△ 131	△ 313
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減額（△は減少）	51	15	△ 36
長期借入れによる収入	—	748	748
長期借入金の返済による支出	△ 198	△ 853	△ 655
社債の償還による支出	△ 500	—	500
配当金の支払額	△ 228	△ 228	△ 0
その他	△ 5	△ 2	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 880	△ 320	560
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	97	32
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 196	17	213
現金及び現金同等物の期首残高	1,425	1,539	115
現金及び現金同等物の期末残高	1,228	1,556	328

フリー・キャッシュ・フロー	318	291	△ 27
---------------	-----	-----	------

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

<コメント>

<p>■営業活動によるキャッシュ・フロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税引前四半期利益の減少等
<p>■投資活動によるキャッシュ・フロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年同期は社債返済原資として3カ月超預金の払戻による収入発生
<p>■財務活動によるキャッシュ・フロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国での長期借入金の返済。前年同期は社債償還による支出発生

9. 連結財政状態計算書

<資産の部>

(億円、%)

	2014年		9月末	2014年		
	3月末	構成比		構成比	前期末比	増減額
資産						
非流動資産						
有形固定資産	1,341	13.8	1,324	13.7	98.8	△ 17
のれん	1,574	16.2	1,674	17.3	106.3	100
無形資産	1,084	11.1	1,028	10.6	94.9	△ 56
その他の金融資産	408	4.2	383	3.9	93.7	△ 26
その他	42	0.4	34	0.4	80.6	△ 8
繰延税金資産	692	7.1	712	7.3	102.8	19
非流動資産合計	5,140	52.8	5,154	53.1	100.3	13
流動資産						
棚卸資産	877	9.0	862	8.9	98.3	△ 15
営業債権及びその他の債権	1,865	19.2	1,740	17.9	93.3	△ 126
その他の金融資産	202	2.1	275	2.8	136.2	73
その他	114	1.2	112	1.2	98.3	△ 2
現金及び現金同等物	1,539	15.8	1,556	16.0	101.1	17
流動資産合計	4,598	47.2	4,546	46.9	98.9	△ 52
資産合計	9,738	100.0	9,699	100.0	99.6	△ 39

<資本及び負債の部>

(億円、%)

	2014年		2014年			
	3月末	構成比	9月末	構成比	前期末比	増減額
資本						
親会社の所有者に帰属する持分						
資本金	450	4.6	450	4.6	100.0	—
資本剰余金	579	6.0	580	6.0	100.0	0
自己株式	△ 385	△ 4.0	△ 382	△ 3.9	99.1	3
利益剰余金	3,792	38.9	3,660	37.7	96.5	△ 133
その他の資本の構成要素	827	8.5	1,087	11.2	131.5	261
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,263	54.0	5,395	55.6	102.5	131
非支配持分	31	0.3	31	0.3	102.0	1
資本合計	5,294	54.4	5,426	55.9	102.5	132
負債						
非流動負債						
社債及び借入金	1,957	20.1	1,917	19.8	97.9	△ 41
その他の金融負債	26	0.3	28	0.3	106.4	2
退職後給付に係る負債	155	1.6	152	1.6	98.1	△ 3
引当金	11	0.1	11	0.1	97.7	△ 0
その他	277	2.8	276	2.8	99.7	△ 1
繰延税金負債	3	0.0	5	0.0	135.5	1
非流動負債合計	2,431	25.0	2,389	24.6	98.3	△ 42
流動負債						
社債及び借入金	515	5.3	487	5.0	94.5	△ 28
営業債務及びその他の債務	622	6.4	510	5.3	81.9	△ 112
その他の金融負債	51	0.5	42	0.4	82.0	△ 9
未払法人所得税	39	0.4	53	0.5	135.7	14
引当金	130	1.3	117	1.2	89.9	△ 13
その他	655	6.7	676	7.0	103.1	21
流動負債合計	2,013	20.7	1,885	19.4	93.6	△ 129
負債合計	4,444	45.6	4,273	44.1	96.2	△ 171
資本及び負債合計	9,738	100.0	9,699	100.0	99.6	△ 39

<コメント>

- 資本の部
 - ・前期末からの円安に伴う為替換算差額の増加
- 負債の部
 - ・米国における長期借入金の返済による減少

10. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2013年度		2014年度	
	1Q	2Q	1Q	2Q
売上収益	1,528	1,516	1,328	1,362
売上原価	462	471	481	457
売上総利益	1,066	1,045	847	905
販売費及び一般管理費	506	508	472	475
販売費	218	231	168	186
人件費	184	177	193	184
管理費他	104	100	110	105
研究開発費	373	305	291	330
その他の収益	3	34	2	4
その他の費用	4	3	1	9
営業利益	186	263	85	96
金融収益	7	3	6	3
金融費用	16	14	13	13
税引前四半期利益	177	252	77	86
法人所得税	53	70	20	38
四半期利益	123	182	57	48
四半期利益の帰属				
親会社所有者	123	181	57	47
非支配持分	1	1	1	0
四半期包括利益	298	190	7	350
EPS (円)	43.0	63.5	19.9	16.6

・EPS：基本的1株当たり四半期利益

2) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2013年		2014年	
	1Q	2Q	1Q	2Q
資本的支出額	106	19	38	33
有形固定資産	15	9	19	26
無形資産	91	10	19	6
減価償却費及び償却費	103	98	93	94

3) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2013年度		2014年度	
	1Q	2Q	1Q	2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	146	291	79	292
投資活動によるキャッシュ・フロー	268	△85	△41	△90
財務活動によるキャッシュ・フロー	△822	△58	△287	△33
現金及び現金同等物の期末残高	1,083	1,228	1,271	1,556
フリー・キャッシュ・フロー	28	290	47	243

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

4) 財政状態計算書項目

(億円)

	2013年度		2014年度	
	6月末	9月末	6月末	9月末
資産	9,626	9,742	9,386	9,699
資本	4,950	5,135	5,074	5,426
親会社の所有者に帰属する持分	4,912	5,105	5,043	5,395
負債	4,675	4,608	4,312	4,273
社債	300	300	300	300
借入金	2,274	2,216	2,110	2,103
親会社所有者帰属持分比率（％）	51.0	52.4	53.7	55.6
負債比率（Net DER／倍）	0.29	0.22	0.18	0.11

・負債比率（Net DER）＝（有利子負債（社債及び借入金）－現金及び現金同等物－3カ月超預金等）÷親会社の所有者に帰属する持分

5) 主力品売上収益の四半期推移

(1) がん関連領域製品

(億円)

	2013年度				2014年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
がん関連領域製品計	271	266	236	234	242	226
ハラヴェン (抗がん剤)	69	69	75	75	82	83
日本	16	16	17	15	16	14
アメリカス	33	32	34	34	38	38
アジア	1	1	2	2	2	3
EMEA	20	19	22	24	26	28
Aloxi (制吐剤)	103	111	108	107	126	110
トレアキシソ/シンペンダ (抗がん剤)	10	10	10	9	10	9
その他	88	76	43	43	25	24

(2) てんかん領域製品

(億円)

	2013年度				2014年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
てんかん領域製品計	55	52	66	68	71	75
Fycompa (抗てんかん剤)	6	1	3	11	7	8
アメリカス	0	0	0	7	2	3
EMEA	6	1	3	3	5	5
ゾネグラン (抗てんかん剤)	21	22	25	23	26	27
EMEA	15	16	17	17	19	19
イノベロン/Banzel (抗てんかん剤)	20	21	30	26	29	28
アメリカス	15	17	24	20	22	22
EMEA	5	4	5	5	5	5
Zebinix (抗てんかん剤)	5	6	6	7	7	8
その他	2	2	3	2	3	3

(3) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

(億円)

	2013年度				2014年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
パリエット/アシフェックス計	299	289	162	165	163	129
日本	128	124	118	104	108	84
アメリカス	155	151	28	43	39	28
アジア	14	13	14	15	15	15
EMEA	2	1	2	2	1	1

・日本のパリエットには、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上収益を含めています。

(4) アリセプト (アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤)

(億円)

	2013年度				2014年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
アリセプト計	232	221	210	164	164	155
日本	183	173	167	128	134	107
アジア	29	30	29	31	32	34

・アリセプトのレビー小体型認知症の適応は日本のみです。

11. 株式の状況

1) 発行株式数・株主数の状況

2014年9月30日現在

発行可能株式総数	発行済株式の総数	自己株式数	株主数	株主1人当たりの平均持株数
1,100,000,000株	296,566,949株	11,121,956株	95,669名	3,100株

・発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しています。

2) 大株主の状況

2014年9月30日現在

株主名	持株数	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	20,709千株	6.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	17,786千株	6.00
日本生命保険相互会社	14,346千株	4.84
株式会社埼玉りそな銀行	8,100千株	2.73
ジェーピー モルガン チェース バンク 385147	7,375千株	2.49
エーザイ従業員持株会	5,514千株	1.86
株式会社みずほ銀行	5,398千株	1.82
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティ	4,273千株	1.44
公益財団法人内藤記念科学振興財団	4,207千株	1.42
BNPパリバ証券株式会社	3,492千株	1.18

・自己株式は11,121千株 (3.75%) であり、議決権がないため除いています。

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

3) 所有者別株主数推移

	2014年		2014年		増減 (名)
	3月末 (名)	構成比 (%)	9月末 (名)	構成比 (%)	
金融機関	185	0.2	173	0.2	△12
金融商品取引業者 (証券会社)	56	0.1	38	0.0	△18
その他の法人	1,075	1.0	1,012	1.1	△63
外国法人等	545	0.5	577	0.6	32
個人・その他	105,119	98.3	93,868	98.1	△11,251
自己株式	1	0.0	1	0.0	0
合計	106,981	100.0	95,669	100.0	△11,312

4) 所有者別所有株式数推移

	2014年		2014年		増減
	3月末	構成比 (%)	9月末	構成比 (%)	
金融機関	103,530千株	34.9	110,632千株	37.3	7,102千株
金融商品取引業者 (証券会社)	10,664千株	3.6	11,024千株	3.7	360千株
その他の法人	23,668千株	8.0	21,787千株	7.3	△1,880千株
外国法人等	68,279千株	23.0	70,613千株	23.8	2,334千株
個人・その他	79,222千株	26.7	71,386千株	24.1	△7,836千株
自己株式	11,202千株	3.8	11,121千株	3.8	△80千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	-

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

5) 所有株数別株主数推移

	2014年		9月末(名)	2014年		増減(名)
	3月末(名)	構成比(%)		構成比(%)		
100万株以上	47	0.0	46	0.0	△1	
10万~100万株未満	152	0.1	159	0.2	7	
1万~10万株未満	1,051	1.0	993	1.0	△58	
1,000~1万株未満	20,619	19.3	18,257	19.1	△2,362	
100~1,000株未満	80,171	74.9	71,414	74.6	△8,757	
100株未満	4,941	4.6	4,800	5.0	△141	
合計	106,981	100.0	95,669	100.0	△11,312	

6) 所有株数別分布推移

	2014年		9月末	2014年		増減
	3月末	構成比(%)		構成比(%)		
100万株以上	164,091千株	55.3	168,575千株	56.8	4,484千株	
10万~100万株未満	47,250千株	15.9	50,786千株	17.1	3,535千株	
1万~10万株未満	24,303千株	8.2	23,033千株	7.8	△1,269千株	
1,000~1万株未満	41,571千株	14.0	37,126千株	12.5	△4,444千株	
100~1,000株未満	19,181千株	6.5	16,877千株	5.7	△2,304千株	
100株未満	169千株	0.1	167千株	0.1	△2千株	
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	-	

・株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

12. 従業員数

1) 連結従業員数

	(人)				
	2011年 3月末	2012年 3月末	2013年 3月末	2014年 3月末	2014年 9月末
連結期末従業員数	11,560	10,730	10,495	10,419	10,137
日本	5,636	5,472	5,320	5,200	4,709
アメリカス	2,559	1,843	1,815	1,768	1,773
EMEA	1,015	872	830	811	863
アジア	2,350	2,543	2,530	2,640	2,792

2) 個別従業員数

	(人)				
	2011年 3月末	2012年 3月末	2013年 3月末	2014年 3月末	2014年 9月末
個別期末従業員数	4,322	4,184	4,050	4,003	3,511
生産	757	708	670	642	437
研究	1,196	1,062	1,013	981	913
販売・管理	2,369	2,414	2,367	2,380	2,161

・期末従業員数は、就業人員数（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む）を表示しています。

13. 主要開発品

<自社開発品一覧>

品目	効能追加*	開発ステージ**	領域
承認取得品			
○ ハラヴェン（乳がんセカンドライン）	効能	（欧）承認	がん・支持療法
◎ アリセプト（レビー小体型認知症）	効能	（日）承認	神経
申請中・申請準備中開発品			
cinitapride（機能性ディスぺプシア）		（中）申請	消化器・肝臓
パリエット（低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制および5mg錠）	効能、剤形	（日）申請	消化器・肝臓
タンボコール（小児用細粒製剤）	剤形	（日）申請	血管・免疫反応
◎ E7080（甲状腺がん）		（日米欧）申請、（ア）申請準備中	がん・支持療法
◎ Fycompa（全般てんかん）	効能	（米欧）申請	神経
◎ ティーシー ピーズ（多血性腫瘍に対する血管塞栓療法）	効能	（日）申請	がん・支持療法
◎ イノバロン/Banzel（レノックス・ガストー症候群の小児適応）	効能	（米）申請	神経
臨床試験中開発品（フェーズⅡ以上）			
Fycompa（部分てんかん）		（日中ア）PⅢ	神経
E5501（特発性血小板減少性紫斑病(ITP)）		（米欧ア）PⅢ	血管・免疫反応
E5501（手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症）		（日米欧ア）PⅢ	血管・免疫反応
ハラヴェン（乳がんサードライン）		（中）PⅢ	がん・支持療法
E7080（肝細胞がん）		（日米欧中ア）PⅢ	がん・支持療法
MORAb-003（プラチナ感受性卵巣がん）		（日米欧ア）PⅢ	がん・支持療法
Fycompa（全般てんかん）	効能	（日ア）PⅢ	神経
ハラヴェン（非小細胞肺癌がん）	効能	（日米欧ア）PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン（肉腫）	効能	（米欧ア）PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン（HER2 陰性乳がんファースト/セカンドライン）	効能	（米）PⅢ	がん・支持療法
アリセプト（高度アルツハイマー型認知症）	効能	（中）PⅢ	神経
パリエット（PPI 抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法）	効能	（日）PⅢ	消化器・肝臓
アリセプト（高用量製剤<23mg錠>）	用法、剤形	（日）PⅢ	神経
E0302（筋萎縮性側索硬化症(ALS)）		（日）PⅡ/Ⅲ	神経
BAN2401（アルツハイマー型認知症）		（米欧）PⅡ	神経
E2006（不眠症）		（米）PⅡ	神経
E5501（C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症）		（米）PⅡ	血管・免疫反応
E6005（アトピー性皮膚炎）		（日）PⅡ	血管・免疫反応
E7016（メラノーマ）		（米）PⅡ	がん・支持療法
E7080（子宮内膜がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7080（メラノーマ）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7080（グリオーマ）		（米）PⅡ	がん・支持療法
E7080（非小細胞肺癌がん、サードライン・単剤）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
E7080（非小細胞肺癌がん、RET 転座）		（日米欧ア）PⅡ	がん・支持療法
E7820（大腸がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-003（非小細胞肺癌がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004（メラノーマ）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004（大腸がん）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004（肉腫）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
MORAb-009（中皮腫）		（米欧）PⅡ	がん・支持療法
Fycompa（部分てんかん小児適応）	効能	（米欧）PⅡ	神経
アリセプト（ダウン症候群の退行様症状）	効能	（日）PⅡ	神経
ハラヴェン（肉腫）	効能	（日）PⅡ	がん・支持療法
Ontak（メラノーマ）	効能	（米）PⅡ	がん・支持療法
パリエット（機能性ディスぺプシア）	効能	（日）PⅡ	消化器・肝臓
Belvii（禁煙補助）	効能	（米）PⅡ	神経

* 効能：効能効果追加、用法：用法用量追加、剤形：剤形追加

** 日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、ア：日本・中国を除くアジア P = Phase：臨床試験段階

・糖尿病合併症治療剤「AS-3201」について、米国、欧州で実施していたフェーズⅡ/Ⅲ試験を終了し、今後の開発方針を検討していましたが、開発を中止しました。

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年7月以降の進捗

(1) がん・支持療法

開発品コード：E7389 一般名：エリブリン 商品名：ハラヴェン

薬効／作用機序：抗がん剤／微小管ダイナミクス阻害剤				自社品
【概要】 クロイソカイメン由来のハリコンドリノBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。乳がんをはじめ、各種固形がんの効果を目指しています。米国・欧州・日本・アジアなど、55カ国で乳がんに係る承認を取得しています。また、2014年6月に欧州における乳がんセカンドラインについて承認を取得いたしました。セカンドラインについては34カ国で承認を取得しています。				
○ 乳がんセカンドライン（効能追加）	301試験	欧州	承認（2014年6月）	注射剤
乳がんサードライン	304試験	中国	PⅢ 2015年度申請予定	注射剤
HER2陰性乳がんファースト／セカンドライン（効能追加）	303試験	米国	PⅢ	注射剤
非小細胞肺癌（効能追加）	302試験	日米欧ア	PⅢ 2014年度申請予定	注射剤
肉腫（効能追加）	309試験 217試験	米欧ア 日本	PⅢ PⅡ 2015年度申請予定	注射剤
膀胱がん（効能追加）	702試験	米欧	PⅠ/PⅡ	注射剤
リボソーム製剤（剤形追加）		欧州	PⅠ	注射剤

開発品コード：E7080 一般名：レンパチニブ

薬効／作用機序：抗がん剤／新規結合型選択的チロシンキナーゼ阻害剤				自社品
【概要】 新規結合型選択的チロシンキナーゼ阻害剤です。各種固形がんの効果を目指しています。				
甲状腺がん	303試験	○ 日本 ◎ 米国 ◎ 欧州 ○ アジア	申請（2014年6月） 申請（2014年8月）受理（同年10月） 申請（2014年8月）受理（同年9月） 申請準備中	経口剤
肝細胞がん	304試験	日米欧中ア	PⅢ	経口剤
子宮内膜がん	204試験	米欧	PⅡ	経口剤
メラノーマ	702試験	米欧	PⅡ	経口剤
グリオーマ	203試験	米国	PⅡ	経口剤
非小細胞肺癌（サードライン・単剤）	703試験	米欧	PⅡ	経口剤
非小細胞肺癌（RET転座）	209試験	日米欧ア	PⅡ	経口剤
腎細胞がん	205試験	米欧	PⅠ/PⅡ	経口剤

開発品コード：MORAb-003 一般名：ファルレツズマブ

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗葉酸受容体αモノクローナル抗体				自社品
【概要】 葉酸受容体α（FRA）に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。				
プラチナ感受性卵巣がん	004試験	日米欧ア	PⅢ	注射剤
非小細胞肺癌	009試験	米欧	PⅡ	注射剤

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年7月以降の進捗

開発品コード：MORAb-004

薬効／作用機序：抗がん剤／ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体			自社品
[概要] Tumor endothelial marker 1 (TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
メラノーマ	201試験	米欧 P II	注射剤
大腸がん	202試験	米欧 P II	注射剤
肉腫	203試験	米欧 P II	注射剤

開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab

薬効／作用機序：抗がん剤／キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体			自社品
[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。			
中皮腫	003試験	米欧 P II	注射剤

開発品コード：E7820

薬効／作用機序：抗がん剤／インテグリン α 2発現抑制剤			自社品
[概要] 血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン α 2の発現抑制作用により血管新生を阻害します。			
大腸がん	702試験	米欧 P II	経口剤

開発品コード：E7016

薬効／作用機序：抗がん剤／ポリADPリボースポリメラーゼ阻害剤			自社品
[概要] ポリADPリボースポリメラーゼ (PARP) はDNA修復に関与する酵素です。PARP阻害剤は腫瘍細胞のDNA修復を阻害することによって抗腫瘍効果をあらわし、DNAに損傷を与える化学療法や放射線療法の効果を増強することを期待しています。			
メラノーマ	201試験	米国 P II	経口剤

開発品コード：E7272 一般名：denileukin diftitox 製品名：Ontak

薬効／作用機序：抗がん剤／インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤			自社品
[概要] インターロイキン2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。すでに米国でCD25 (IL-2受容体の構成要素) 陽性の皮膚T細胞リンパ腫治療剤として承認を取得しています。			
メラノーマ (効能追加)	701試験	米国 P II	注射剤

開発品コード：E7040 製品名：ディーシー ピーズ

薬効／作用機序：血管塞栓用ピース／医療機器			導入品 (Biocompatibles)
[概要] 架橋化ポリビニルアルコール高分子からなる親水性の球状微粒子であり、注入用カテーテルを通じて目標とする血管を選択的に塞栓するための血管塞栓用ピースです。微細で均一な球状の粒子であるため、血管径や腫瘍の大きさ等の対象範囲に合わせた持続的な塞栓効果が期待できます。日本において、肝細胞癌患者に対する肝動脈塞栓療法を使用目的として承認を取得しています。			
◎ 多血性腫瘍に対する血管塞栓療法 (効能追加)	301試験	日本 申請 (2014年9月)	血管塞栓材

開発品コード：E7438

抗がん剤 (EZH2阻害剤)	P I / P II	導入品 (Epizyme)	経口剤
----------------	------------	---------------	-----

開発品コード：E7090

◎ 抗がん剤	P I	自社品	経口剤
--------	-----	-----	-----

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年7月以降の進捗

開発品コード：MORAb-066

抗がん剤（抗体）	P I	導入品（Janssen Biotech）	注射剤
----------	-----	----------------------	-----

（2）神経

開発品コード：E2020 一般名：ドネペジル 製品名：アリセプト

薬効／作用機序：アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤			自社品	
[概要] 神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症（AD）の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、すでに世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。2014年9月には、日本においてレビー小体型認知症の効能・効果の追加承認を取得しました。				
◎ レビー小体型認知症（効能追加）	341試験	日本	承認（2014年9月）	経口剤
高度アルツハイマー型認知症（効能追加）	339試験	中国	P III	2014年度申請予定
高用量製剤<23mg錠>（用法、剤形追加）	343試験	日本	P III	2014年度申請予定
ダウン症候群の退行様症状（効能追加）	345試験	日本	P II	経口剤
パッチ製剤（剤形追加、E2022）		日本	P I	（帝國製薬との共同開発） 貼付剤

開発品コード：E2007 一般名：ペランパネル 製品名：Fycompa

薬効／作用機序：抗てんかん剤／AMPA受容体拮抗剤			自社品	
[概要] グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に対して欧州、米国およびカナダなど、41カ国で承認を取得しています。				
部分てんかん	335試験	日中ア	P III	2015年度申請予定
全般てんかん（効能追加）	332試験	◎ 米国	申請（2014年8月）	受理（同年10月）
		◎ 欧州	申請（2014年8月）	受理（同年9月）
		日ア	P III	2015年度申請予定
部分てんかん小児適応（効能追加）	232試験	米欧	P II	経口剤

・日本の全般てんかんは、部分てんかんと同時に2015年度に申請することを予定しています。

開発品コード：E0302 一般名：メコバラミン

薬効／作用機序：筋萎縮性側索硬化症			自社品	
[概要] メコバラミン（生体内補酵素型ビタミンB ₁₂ ）製剤であり、傷ついた末梢神経を修復する作用があります。すでに末梢性神経障害治療剤として広く使われており、新たに、筋萎縮性側索硬化症（ALS）治療剤をめざしています。				
筋萎縮性側索硬化症（ALS）	761/762試験	日本	P II/III	2014年度申請予定

開発品コード：E2080 一般名：ルフィナミド 製品名：イノベロン/Banzel

薬効／作用機序：抗てんかん剤			導入品（ノバルティス）	
[概要] 新規構造のトリアゾール誘導体で、過剰電荷を帯びている脳内ナトリウムチャネルの活動を調節します。小児から発症する重篤な難治性てんかんの一つであるレノックス・ガストー症候群の併用療法に係る適応で、日本、欧州、米国で承認を取得しています。ブランド名は、日本、欧州では「イノベロン（Inovelon）」、米国では「Banzel」です。				
◎ レノックス・ガストー症候群の小児適応（効能追加）	303試験	米国	申請（2014年8月）	受理（同年10月）

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年7月以降の進捗

開発品コード：BAN2401

薬効／作用機序：アルツハイマー型認知症治療剤／ヒト化抗Aβプロトフィブリルモノクローナル抗体	導入品（バイオアーキティック ニューロサイエンス）	
[概要] アミロイドベータ（Aβ）プロトフィブリルに対するヒト化IgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されているAβプロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー型認知症の進行を抑制することを期待しています。		
アルツハイマー型認知症	201試験 米欧 P II 日本 P I	注射剤

開発品コード：E2006

薬効／作用機序：不眠症治療剤／オレキシン受容体拮抗剤	自社品	
[概要] 新規作用機序の睡眠導入剤です。覚醒状態を維持するオレキシン受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、自然な睡眠の誘発を期待しています。		
不眠症	201試験 米国 P II	経口剤

開発品コード：APD356 一般名：Lorcaserin 製品名：Belviiq

薬効／作用機序：肥満症治療剤／セロトニン2C受容体作動剤	導入品 (Arena Pharmaceuticals)	
[概要] 新規作用機序の肥満症治療剤です。選択的に脳内のセロトニン2C受容体を刺激することにより摂食を抑制し、満腹感を促進すると考えられています。本剤は、米国において、ボディ・マス・インデックス（BMI）が30kg/m ² 以上、あるいは少なくとも1つ以上の合併症を患うBMIが27kg/m ² 以上の成人患者様の体重管理を目的とした食事療法と運動療法に対する補助療法として、2012年6月に米国食品医薬品局（FDA）より承認され、米国麻薬取締局によるスケジューリング指定を経て、2013年6月に発売されました。新たに、禁煙補助の適応取得をめざした開発を進めています。		
禁煙補助（効能追加）	035試験 米国 P II	（Arena社と共同開発） 経口剤
肥満症	日本 P I	経口剤

開発品コード：E2609

アルツハイマー型認知症（BACE阻害剤）	P I	自社品	経口剤
----------------------	-----	-----	-----

開発品コード：E2307

◎ アルツハイマー型認知症	P I	自社品	経口剤
---------------	-----	-----	-----

・糖尿病合併症治療剤「AS-3201」について、米国、欧州で実施していたフェーズII/III試験を終了し、今後の開発方針を検討していましたが、開発を中止しました。

(3) 血管・免疫反応

一般名：フレカイニド 製品名：タンボコール

薬効／作用機序：頻脈性不整脈治療剤	自社品	
[概要] 心筋のナトリウムチャネル遮断作用によって頻脈性不整脈を抑制します。成人における頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、心室性）および小児における頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性）の適応を有しています。		
小児用細粒製剤（剤形追加）	日本 申請（2014年1月）	経口剤

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年7月以降の進捗

開発品コード：E5501/AKR-501 一般名：avatrombopag

薬効／作用機序：血小板減少症治療剤／トロンボポエチン受容体作動剤			自社品
[概要] トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。			
手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症	310/311試験	日米欧ア PⅢ	2015年度申請予定 経口剤
特発性血小板減少性紫斑病 (ITP)	302試験	米欧ア PⅢ	経口剤
C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症	203試験	米国 PⅡ	経口剤

・手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症の適応についてグローバル臨床フェーズⅢ試験に日本も加わりました。

開発品コード：E6005

薬効／作用機序：アトピー性皮膚炎治療剤／ホスホジエステラーゼ4阻害剤			自社品
[概要] 細胞内情報伝達物質サイクリックAMPの分解酵素であるホスホジエステラーゼ4の働きを阻害します。アトピー性皮膚炎の諸症状を抑える治療薬となることを期待しています。			
アトピー性皮膚炎	102試験	日本 PⅡ	外用剤

開発品コード：E6011

自己免疫疾患/炎症性疾患(抗フラクタルカイン抗体)	PⅠ/PⅡ	自社品	注射剤
---------------------------	-------	-----	-----

開発品コード：MORAb-022

抗リウマチ剤(抗体)	PⅠ	自社品	注射剤
------------	----	-----	-----

開発品コード：E6007

◎ インテグリン活性化阻害	PⅠ	自社品	経口剤
---------------	----	-----	-----

(4) 消化器・肝臓

開発品コード：E3810 一般名：ラベプラゾール 製品名：パリエット/アシフェックス

薬効／作用機序：プロトンポンプ阻害剤			自社品
[概要] プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌、ラベプラゾールを含むヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用パック製剤などの承認を取得しています。			
低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制および5mg錠 (効能・剤形追加)	308/309試験	日本 申請(2013年11月)	経口剤
PPI抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法 (効能追加)	311試験	日本 PⅢ	経口剤
機能性ディスペプシア(効能追加)	204試験	日本 PⅡ	経口剤

一般名：cinitapride

薬効／作用機序：上部消化管機能改善剤			導入品 (Almirall)
[概要] 消化管神経叢に存在する5-HT ₂ および5-HT ₄ 受容体を刺激することによりアセチルコリンの遊離を増大させ、上部消化管運動を改善します。また抗ドーパミン作用も有し、ドーパミン受容体を阻害することによりアセチルコリンの放出抑制を解除し上部消化管機能を改善します。			
機能性ディスペプシア		中国 申請(2011年10月)	経口剤

○：2014年4月以降の進捗、◎：2014年7月以降の進捗